

目次

概要

[ESA の多重 認証を加え、異なるインターフェイスがリスナーに割り当てるとは可能性のあるですか。](#)

概要

この資料に E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) の多重 認証を加え異なるインターフェイスがリスナーに割り当てると方法を記述されています。

ESA の多重 認証を加え、異なるインターフェイスがリスナーに割り当てるとは可能性のあるですか。

Cisco ESA で、多重 認証をインストールし、リスナー 1人あたりに割り当てることができます。どちらかを使用して TLS 接続に個々のパブリックか private リスナーに GUI 認証を割り当てることができます: ネットワーク > リスナーまたは CLI: `listenerconfig > Edit > 認証`。

TLS 認証を GUI によって割り当てるとために、リスナーを作成するか、または編集した場合ほしく、入り、選択して下さい変更を認証 セクションで保存して下さい認証を。

認証を CLI によってリスナーに割り当てるとために、次の手順に従って下さい:

1. 設定したいと思うリスナーを選択するのに `listenerconfig > Edit` コマンドを使用して下さい。
。
2. 利用可能な 認証を見る `certificate` コマンドを使用して下さい。
3. プロンプト表示された場合リスナーに割り当てたいと思う認証を選択して下さい。
4. 終了するときリスナーを設定します、変更を有効にする `commit` コマンドを発行して下さい。
。